

令和4年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会
東水沢保育園

I. 保育目標

- 健康で明るい子ども
- 豊かな心を持つ子ども
- 自分のことは自分でできる子ども
- 他人のことを考え、協力できる子ども
- 何故だろうと考え、物事に疑問を持つ子ども
- 自然に親しみ、愛することができる子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども

II. 施設運営の重点課題

- 保育内容の充実
- 地域のニーズに合わせた保育事業の展開
- 保護者支援の推進
- 子育て支援活動の推進と地域交流
- 専門機関との連携を図る
- 食育指導の充実
- 自己評価における学び合い
- 特色ある保育の実践
- 「たくましい子を生み育てる」保育の実践と研究

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

III. 評価項目と取り組み状況

自己評価項目		評価	取り組み状況
1	新園舎で保育内容の充実	B	・園内で構成された「環境」チーム研修とともに安全に配慮し過ごせるよう園舎内外の危険個所の確認を行った。
2	地域のニーズに合わせた保育事業の展開	A	・市内最長の延長保育や、乳児の受け入れを行った。 ・子育て支援拠点事業の実施の開催曜日の定着により周知していただき利用率があがった。子育て家庭のニーズに応えながら交流することができた。
3	保護者支援の推進	B	・保護者の保育参加、5歳児就学前子育て講演会を行った。(コロナ禍を考慮し動画視聴講演会を開催日時を分けて行った。) ・個別面談は、前期、後期と2回行い対応できた。また、個別に対応を必要とする家

				庭に対しても随時面談の場を設けた。
4	子育て支援活動の推進と地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の地域交流の在り方を考える 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、運動会、文化祭、表現発表会は園児、職員で行い保護者に観覧いただいた。地域の方をお招きすることができなかった。 ・地域の方に園の様子が分かるよう手紙や写真、ホームページで情報発信に努めた。 ・子育て支援拠点事業の広報誌を地域に回覧や配置を行っており目に触れていただき、来園のきっかけとなっている。
5	専門機関との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに対応した保育の実践 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに対応した保育ができるよう専門機関の指導を受け学び、実践に生かすことができた。
6	食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・風の子農園の野菜を生かし料理を作る等保育との連動を持つ。 ・食を通して家庭、地域社会との関わりを深め、子どもの心と身体の育成を促す。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「食を営む力」を育むため、風の子農園で育てた野菜でクッキングをした。 ・地域と連携をしながら地産地消を取り入れ安全安心な食の提供に努めた。 ・地域の方々と、サツマイモ堀り、味噌づくり、商店の見学や、「魚の解体ショー」等交流しながら食に対する興味・関心を持つことができた。 ・文化祭「給食コーナー」では、「子どもの食べる力を育てる」をテーマに、咀嚼力を高める事や離乳食の大切さについて、展示し保護者に食育について知らせた。
7	自己評価における学び合い	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム研修で取り組んでいる「エピソード記述」で日誌を見合いながら、心の読み取りの気づきや保育の振り返りについて、学び合うことができた。 ・全国保育士会発行の「人権養護のセルフチェックリスト」を活用し、自己点検しながら資質向上に向け取り組む事ができた。
8	特色ある保育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験・社会体験豊かな園外保育 ・日本文化に触れる和太鼓の取り組み 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や、山、森林、博物館等に行き、自然に触れたり、興味関心をもって見ることで豊かな心の成長につなげた。 ・5歳児になり、和太鼓演奏を意欲的に行い、一人ひとりの取り組みが仲間と奏でる醍醐味を感じられるように努めた。コロナ禍のため、運動会、文化祭、卒園式に保護者への披露とした。

9	<p>「たくましい子を生み育てる」 保育の実践と研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会に参加し保育力を高める。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモート研修に、職員が積極的に参加した。 ・園内で年齢別会議、給食委員会会議、職員会議園内研修等、課題に対して検討し合える場に職員の参加の機会を持てるようにした。 ・4園保育事業部会で取り組んでいるチーム研修では、保育士リーダーを中心に、「保護者支援」「環境」「エピソード記述」について、職員同士が研修できるよう計画、実践し、資質向上に向け取り組んだ。
---	------------------------------------	--	---